

食品製造業の売上 D I

- 平成 21 年 9 月 -

【 概要 】

1 売上予測 D I

食品製造業における平成 21 年 12 月の売上予測 DI (先行き平成 21 年 11 月～平成 22 年 1 月の予測で中間月で示す。以下同じ) は、38.9 (最低 = 0、最高 = 100 で分岐点は 50、以下同じ) で、前月に比べて 0.7 ポイントとなった。

業種別にみると、調理食品が 42.5 で最も高く、次いで水産食料品が 41.4、畜産食料品が 37.5、農産食料品が 37.3、コーヒー・茶系飲料が 30.0 となっている。

図1 総合「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

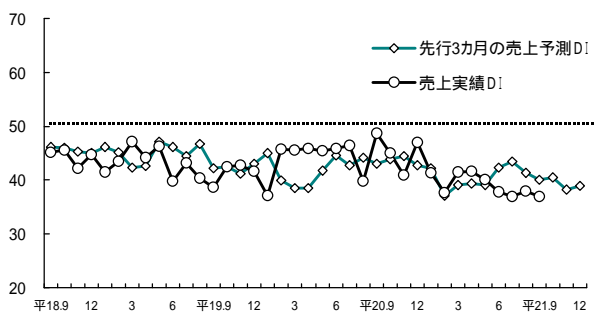


表1 先行3カ月の売上予測DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	40.5	38.2	38.9	0.7
畜産食料品	39.3	41.7	37.5	4.2
水産食料品	44.0	43.4	41.4	2.0
農産食料品	39.3	34.9	37.3	2.4
コーヒー・茶系飲料	35.0	35.0	30.0	5.0
調理食品	41.1	37.5	42.5	5.0

2 売上実績 D I

食品製造業における平成 21 年 9 月の売上実績 DI は 37.0 で、前月に比べて 1.0 ポイントとなった。

業種別にみると、水産食料品が 44.1 で最も高く、次いで畜産食料品と調理食品が 37.5、農産食料品が 33.3、コーヒー・茶系飲料が 30.0 となっている。

図2 売上実績DI

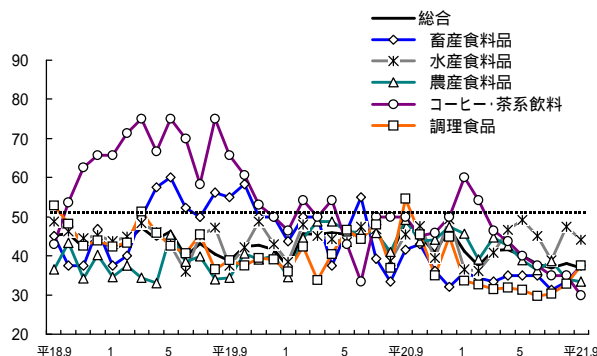


表2 売上実績DI

	平21.7月	8月	9月	前月差
総合	36.9	38.0	37.0	1.0
畜産食料品	31.3	33.3	37.5	4.2
水産食料品	38.8	47.4	44.1	3.3
農産食料品	38.6	34.1	33.3	0.8
コーヒー・茶系飲料	35.0	35.0	30.0	5.0
調理食品	30.4	32.8	37.5	4.7

3 製品販売価格DI

食品製造業における平成21年9月の製品販売価格DIは45.2で、前月に比べて0.2ポイントとなった。

業種別にみると、調理食品が51.3で最も高く、次いで畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が45.0、農産食料品が44.9、水産食料品が42.6となっている。

図3 製品販売価格DI

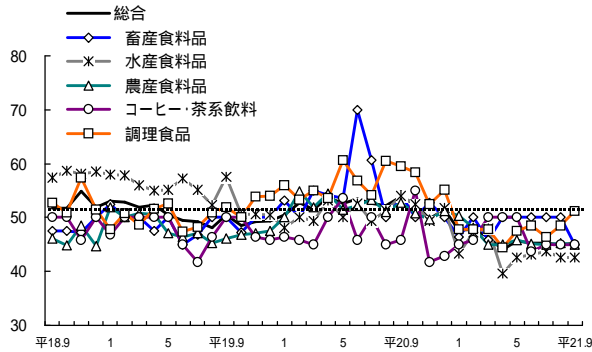


表3 製品販売価格DI

	平21.7月	8月	9月	前月差
総合	45.2	45.0	45.2	0.2
畜産食料品	50.0	50.0	45.0	5.0
水産食料品	43.8	42.6	42.6	0.0
農産食料品	45.0	45.3	44.9	0.4
コーヒー・茶系飲料	45.0	45.0	45.0	0.0
調理食品	46.4	48.4	51.3	2.9

4 原料価格予測DI

食品製造業における平成21年12月の原料価格予測DI(平成20年6月から調査開始。先行き平成21年11月~平成22年1月の予測で中間月で示す。以下同じ)は49.3で、前月に比べて1.8ポイントとなっている。

業種別にみると、畜産食料品が54.2で最も高く、次いで水産食料品が53.4、コーヒー・茶系飲料が50.0、農産食料品が47.8、調理食品が45.0となっている。

図4 原料価格予測DI

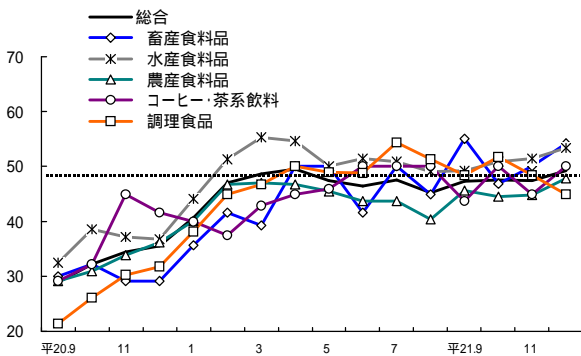


表4 原料価格予測DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	47.5	47.5	49.3	1.8
畜産食料品	46.9	50.0	54.2	4.2
水産食料品	50.9	51.4	53.4	2.0
農産食料品	44.5	44.8	47.8	3.0
コーヒー・茶系飲料	50.0	45.0	50.0	5.0
調理食品	51.8	48.3	45.0	3.3

5 原料需給予測DI

食品製造業における平成21年12月の原料需給予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成21年11月～平成22年1月の予測で中間月で示す。以下同じ）は46.7で、前月比0.8ポイントとなった。

業種別にみると、コーヒー・茶系飲料が50.0で最も高く、次いで農産食料品が47.8、調理食品が47.5、畜産食料品が45.8、水産食料品が43.9となっている。

図5 原料需給予測DI

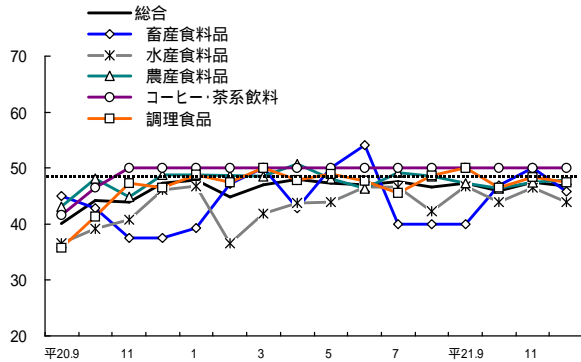


表5 原料需給予測DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	45.9	47.5	46.7	0.8
畜産食料品	46.9	50.0	45.8	4.2
水産食料品	44.0	46.5	43.9	2.6
農産食料品	46.3	47.4	47.8	0.4
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	46.4	48.3	47.5	0.8

6 在庫水準DI

食品製造業における平成21年9月の在庫水準DIは50.4で、前月比1.7ポイントとなった。

業種別にみると、調理食品が53.9で最も高く、次いで農産食料品が50.4、水産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0、畜産食料品が41.7となっている。

図6 在庫水準DI

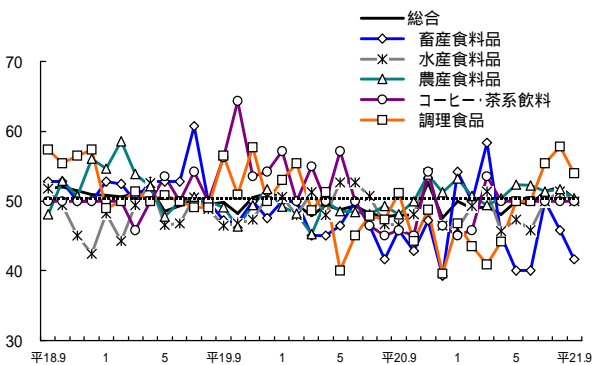


表6 在庫水準DI

	平21.7月	8月	9月	前月差
総合	51.4	52.1	50.4	1.7
畜産食料品	50.0	45.8	41.7	4.1
水産食料品	50.0	51.4	50.0	1.4
農産食料品	51.4	51.7	50.4	1.3
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	55.4	57.8	53.9	3.9

【業種別の動向】

1 畜産食料品

畜産食料品の平成 21 年 12 月の売上予測 DI は 37.5 で、前月比 4.2 ポイントとやや低下している。一方、9 月の売上実績 DI は 37.5 で、前月比 4.2 ポイントとやや上昇している。

次に 9 月の製品販売価格 DI は 45.0 で、前月比 5.0 ポイントと低下している。12 月の原料価格予測 DI は 54.2 で、前月比 4.2 ポイントとやや上昇している。

図7 畜産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

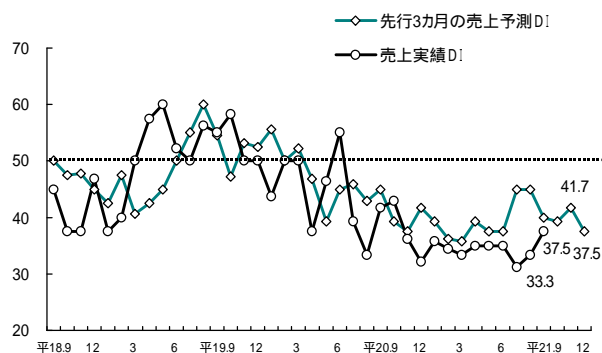


図8 畜産「製品価格DI、原料価格予測DI」



2 水産食料品

水産食料品の平成 21 年 12 月の売上予測 DI は 41.4 で、前月比 2.0 ポイントとやや低下となっている。一方、9 月の売上実績 DI は 44.1 で、前月比 3.3 ポイントとやや低下している。

次に 9 月の製品販売価格 DI は 42.6 で、前月とかわらない。12 月の原料価格予測 DI は 53.4 と前月比 2.0 ポイントとやや上昇している。

図9 水産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

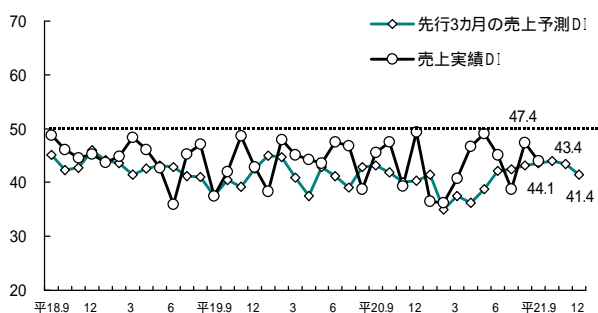
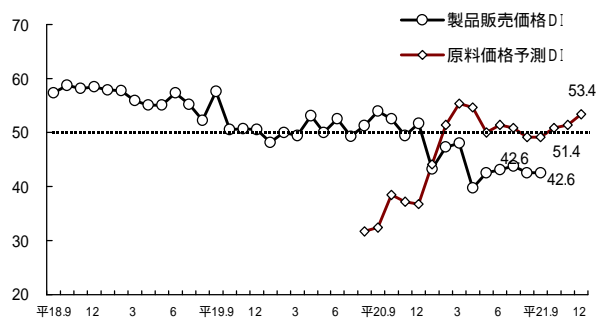


図10 水産「製品価格DI、原料価格予測DI」



3 農産食料品

農産食料品の平成 21 年 12 月の売上予測 DI は 37.3 で、前月比 2.4 ポイントとやや上昇している。一方、9 月の売上実績 DI は 33.3 で、前月比 0.8 ポイントとなっている。

次に 9 月の製品販売価格 DI は 44.9 で、前月比 0.4 ポイントとなっている。12 月の原料価格予測 DI は 47.8 で前月比 3.0 ポイントとやや上昇している。

図11 農産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

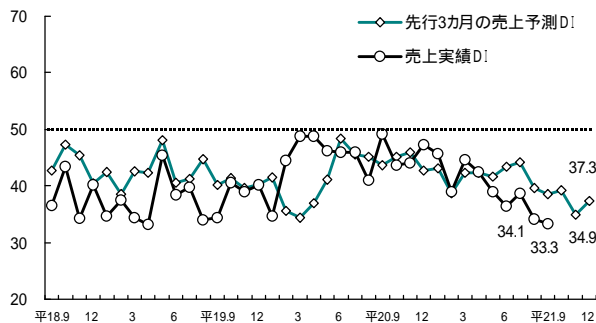
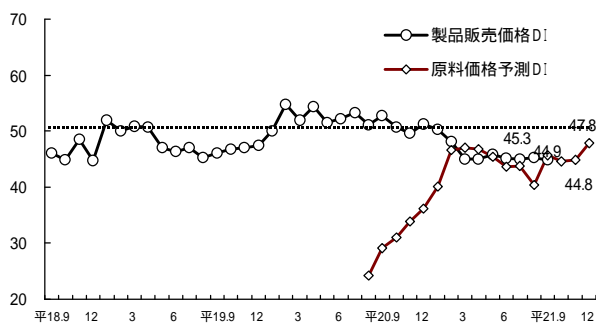


図12 農産「製品価格DI、原料価格予測DI」



4 コーヒー・茶系飲料

コーヒー・茶系飲料の平成21年12月の売上予測DIは30.0で、前月比5.0と低下している。一方、9月の売上実績DIは30.0で前月比5.0と低下している。

次に9月の製品販売価格DIは45.0で、前月とかわらない。12月の原料価格予測DIは50.0で前月比5.0ポイントと上昇している。

図13 コーヒー・茶系飲料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

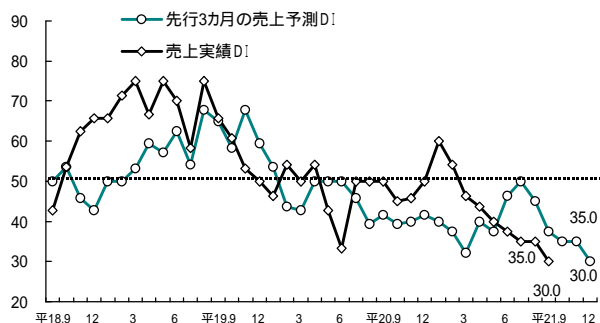
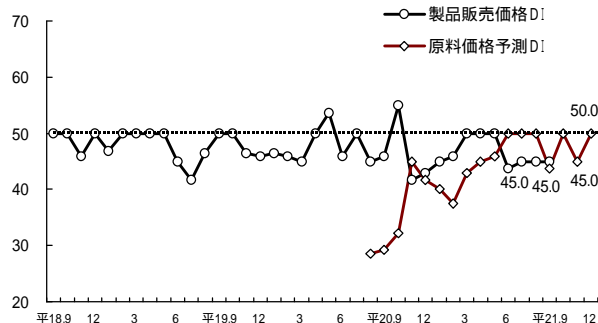


図14 コーヒー・茶系飲料「製品価格DI、原料価格予測DI」



5 調理食品

調理食品の平成21年12月の売上予測DIは42.5で、前月比5.0ポイントと上昇している。一方、9月の売上実績DIは37.5で、前月比4.7ポイントとやや上昇している。

次に9月の製品販売価格DIは51.3で、前月比2.9ポイントとやや上昇している。12月の原料価格予測DIは45.0で前月比3.3ポイントとやや低下している。

図15 調理食品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

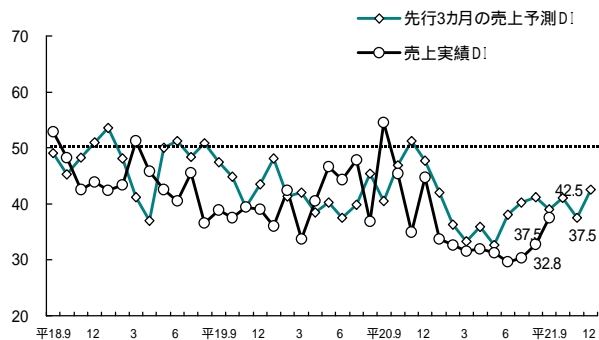
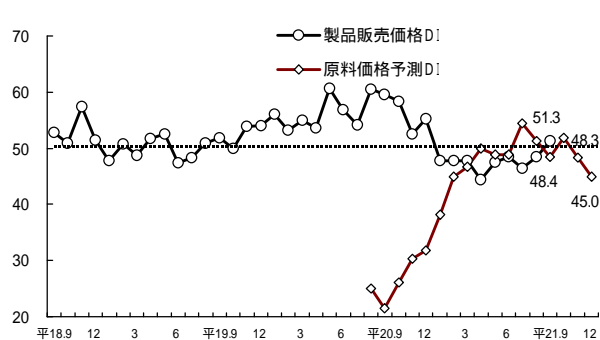


図16 調理食品 製品価格DI、原料価格予測DI



【 利用者のために 】

(1) 判断基準項目

- ・ 売上予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 売上実績 DI (当月の実績)
- ・ 製品販売価格 DI (当月の実績)
- ・ 原料価格予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 原料需給予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 在庫水準 DI (当月の実績)

平成 20 年 6 月より調査開始。なお、従来調査していた原料価格 DI と原料需給 DI は取りやめた。

(2) DI の算出方法

DI Diffusion Index の増減分岐点は 50% ラインが目安である。

(最高 = 100 ~ 最低 = 0)

指数は、回答の 5 段階選択肢「増加」、「やや増加」、「変わらない」、「やや減少」、「減少」(前年同期比) の構成比にそれぞれ +1、+0.75、+0.5、+0.25、+0 を乗じて算出。

注：原料価格予測 DI は、「上昇」、「やや上昇」、「変わらない」、「やや低下」、「低下」の構成比にそれぞれ +0、+0.25、+0.5、+0.75、+1 を乗じて算出。「やや低下」、「低下」の割合が高いほど指数が高く、製品販売価格 DI とは算出方法が異なる。

なお、DI の算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けを行って
おらず、「1 社 1 票」の単純平均である。

< 前月比の増減基準 >

増加、上昇、良い、多め	: 5% 以上
やや増加、やや上昇、やや良い、やや多め	: 2% 以上 ~ 5% 未満
かわらない	: ±0% 以上 ~ ±2% 未満
やや減少、やや低下、やや悪い、やや少なめ	: -2% 以上 ~ -5% 未満
減少、低下、悪い、少なめ	: -5% 以上

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

調査時点 平成 21 年 10 月

(4) 前月差については、ラウンドの関係で一致しないことがある。

本調査結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

農林水産省 【http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html】

(社) 食品需給研究センター 【<http://www.fmric.or.jp/stat/index.html>】

発行日 平成 21 年 11 月 5 日 発行

社団法人 食品需給研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 1-26-3

TEL : 03-5567-1991 FAX : 03-5567-1960

<http://www.fmric.or.jp>
